

② 県指定等
ア 有形文化財

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
柞原八幡宮文書絵図	八幡	柞原八幡宮	昭35. 3. 22	絵図のみ。箱書に宝永4年(1707)とある。	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	〃	〃	〃	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる文明2年(1470)	室町時代
詫摩文書	大分市 歴史資料館	個人所有	〃	合計11巻 286点の文書 嘉応元年(1169)～慶長16年(1611)	平安時代末期～ 江戸時代初期
都甲文書	大分県立 先哲史料館	〃	〃	合計4巻 90通	平安時代～ 江戸時代
刀	田尻	〃	昭40. 3. 9	銘貞行 応永時代	室町時代前半
刀	森	〃	昭43. 3. 29	表銘豊州高田庄藤原行長 裏銘慶長五年二月 日 ※慶長5年 (1600)	安土桃山時代
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44. 3. 22	檜材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
岐部文書	大分県立 先哲史料館	個人所有	昭44. 3. 22	岐部海賊衆の中世文書	室町時代
木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭45. 3. 31	檜材 寄木造 像高 78.8cm	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
木造女神形坐像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 46.6cm	〃
木造祖師形坐像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 54.8cm	平安時代末期
板彫多聞天立像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 76.9cm	〃
紙本着色由原八幡宮 縁起絵巻附極書二通	〃	〃	〃	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増言阿含経	〃	〃	〃	11紙 縦34cm、横64.2cm 文和4年(1355)に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	〃	〃	〃	蓋裏の銘により元和8年(1622)中川秀征 (岡藩2代藩主)寄進されたことが分かる。	江戸時代初期
紙本着色厩図六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭46. 3. 23	土佐派の画風 春隻と秋隻 (各)150.0×52.5cm	江戸時代中期
絹本着色柿本人磨図	〃	〃	〃	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期
紙本着色風俗画	大分県立 美術館	宗玄寺	昭52. 3. 31	大分県杵築市宗玄寺所有	江戸時代
安藤家刀	横尾	個人所有	昭54. 5. 15	銘豊州高田住大和太掾藤原貞行 平成16年6月21日所有者変更による	〃
中間石幢	志津留	中間班	昭55. 4. 8	造立者の墨書銘あり 応永6年(1399)造立	室町時代

万年橋	寒田	西寒多神社	〃	文久2年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
金剛宝戒寺木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57. 3. 30	檜材 寄木造 像高161.6cm	鎌倉時代
豊後国諸檢地帳	大分県立 先哲史料館	大分県	〃	文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平9年大分県立先哲資料館	安土桃山時代～ 江戸時代初期
太刀(豊州之住人直宗作)	坂ノ市	個人所有	昭63. 3. 15	「豊州之住人直宗作 応永十八年口月十五日」銘 応永18年(1412) 平成22年2月10日 所有者変更	室町時代
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平 9. 3. 25	檜材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期～ 南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10. 3. 20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
脇差	〃	〃	〃	豊後国高田住藤原實行作	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	〃	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本着色阿弥陀来迎図	森町	専想寺	平11. 3. 23	縦98.7cm 横38.0cm 本願寺絵所で制作	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	檜材 寄木造 像高52.6cm 玉眼 漆箔	鎌倉時代
巴形銅器	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	〃	考古資料	弥生時代
教尊寺(7棟)	本神崎	教尊寺	〃	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門 江戸期の伽藍構成 建物の大方が現存	江戸時代
絹本着色中川家歴代藩主画像	大分県立 美術館	西光寺	平12. 3. 24	大分県竹田市西光寺所有	〃
刀(平長盛)	常行	個人所有	平13. 4. 3	銘平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
刀(平長盛)	森町	〃	〃	銘文平長盛 平成19年7月24日 所有者変更で臼杵市より	〃
木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平14. 3. 29	樟材 一木造 像高 273.5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永興	臨濟寺	〃	桧材 寄木造 像高 170cm 平成18年5月18日所有者変更	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16. 3. 30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造 檜皮葺	〃
早吸日女神社社家 (小野家住宅)	〃	個人所有	〃	入母屋造 棧瓦葺	〃
長湯横穴墓群第7号墓出土品	大分県立 埋蔵文化財 センター	大分県	平17. 3. 29	鹿角製刀装具装着鉄刀他 計28点	古墳時代後期
木造地藏菩薩立像	青石	妙蔵寺保存会	平17. 3. 30	像高81.5cm、材質檜、寄木造、彫眼、漆箔が施されている。「愛宕地藏」とも呼ばれている。	鎌倉時代
絹本着色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18. 3. 31	縦212.3cm 横214.5cm	〃
木造聖徳太子二歳立像	勢家	法専寺	〃	桧材寄木造 玉眼 像高68.2cm	〃

銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平19. 3. 30	総高16.3cm 像高15.1cm 銅鑄造製、鍍金あり	飛鳥時代～ 白鳳時代
大志生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平21. 3. 17	應安六年癸丑六年(1373)の銘。[塔供養]と刻まれている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
王ノ瀬石棺	海部古墳資料館	共有	平24. 3. 13	家形石棺。付近の辻1号墳の主体部と推定される。	古墳時代中期
先哲史料館稲葉家文書	大分県立先哲史料館	大分県	平26. 2. 14	臼杵藩稲葉家に伝えられてきた文書。足利将軍家、徳川将軍家からの書簡を含む344点の文書。	鎌倉時代～ 江戸時代
猪野遺跡出土銅矛	大分市歴史資料館	大分市	平28. 2. 23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県内で唯一、発掘調査にて出土した銅矛。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	松岡	長興寺	〃	鎌倉時代末期から南北朝時代初期にかけて、慶派仏師による作と考えられる。	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
佐知遺跡17遺構出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	〃	中津市三光佐知遺跡から出土した遺物。男性を埋葬した墓で、太刀、鉄製矢じり等46点。	鎌倉時代
龍頭遺跡出土編袋	〃	〃	〃	杵築市山香町野原 龍頭遺跡より出土。ツル植物で編まれた袋。当時の技法がわかる。	縄文時代後期
高野山本覚院文書	大分県立先哲史料館	〃	平29. 3. 7	大友氏およびその家臣、近世大名にかかる書簡等1946点の文書が残されている。	中世～近代
一方平 I 遺跡出土石器群	大分県立埋蔵文化財センター	〃	〃	大分市横尾字一方平から出土した石器群。石器製作技術の全工程が復元できる資料。	旧石器時代後期
東田室遺跡出土絵画土器	〃	〃	〃	大分市田室町古墳時代の竪穴住居跡から出土、龍文のひれ部分が描かれた絵画文様。	古墳時代中期前半
紙本着色隠元・木庵・即非	田室	長福寺	平30. 2. 6	黄檗宗三禅師肖像画と達磨図 寛文元年(1661)製作	江戸時代
四日市遺跡木棺墓出土品	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	〃	「青磁唾壺」「隅入宝鏡」等の出土。被葬者は大宰府に関係する玖珠郡の官人と考えられる。	平安時代
田尻家文書 附仏像二軀・鏡一面	大分県立先哲史料館	〃	令 2. 2. 25	田尻家は太友氏4代目親時の孫を祖先としており、豊後国と肥後国に配属された。国境地帯の動向を知る貴重な文書	室町時代～ 江戸時代
四日市遺跡出土絵画土器	大分県立埋蔵文化財センター	大分県	令 8. 2. 27	シカや矢じり状の模様が壺や高坏などに描かれた絵画土器。シカを描いた絵画土器は大分県内では唯一のもの	弥生時代中期後半

イ 史跡

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
丑殿古墳	賀来	丑殿神社	昭30. 5. 28	横穴式石室 家形石棺 (昭47年保存施設)	古墳時代後期
脇蘭室墓	鶴崎	大分市	昭32. 3. 26	墓碑表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の6字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34. 3. 20	銘延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代
府内城跡	荷揚町	大分市	昭38. 2. 15	石垣、土塀、堀、櫓2、櫓跡1	江戸時代
曲石仏付双塔(五輪塔)・磨崖連碑	曲	大分市	昭41. 3. 23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される(昭47年補修)	平安時代末期～室町時代
口戸磨崖仏 附磨崖五輪双塔	口戸	個人所有	昭44. 3. 22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴崎	大分市	昭45. 3. 31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政4年(1857)一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩屋寺石仏	古国府	円寿寺	〃	凝灰岩の崖面に彫られた17体からなる磨崖仏群。風化が著しいが、十一面観音菩薩立像が良く残る	鎌倉時代～室町時代
参勤交代道路	今市	大分市	昭47. 3. 21	幅2.1m 長さ660mの石畳	江戸時代
蓬来山古墳	庄ノ原	大床社	昭56. 3. 31	前方後円墳 全長60m	古墳時代前期
毛利空桑墓	常行	共有	昭62. 6. 29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻昭36. 3. 14指定後地番誤記判明昭62. 6. 29再指定	江戸時代
小牧山古墳群	松岡	大分市	平23. 3. 29	方墳、円墳、前方後円墳等6基からなる古墳群 3～4世紀中頃の築造	古墳時代

ウ 天然記念物

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	指定年月日	摘要	参考
高島のビロウ自生地	高島	大分県	昭30. 5. 27	亜熱帯性植物。高島は自生地の北限。	
高島のウミネコ営巣地	〃	大分市	〃	400羽程度 5月～8月中旬に営巣	

エ 無形民俗文化財(記録選択)

名称または物件	所在地	所有者 (管理団体)	選択年月日	摘要	参考
賀来神社卯酉の神事	賀来	共有	昭33. 3. 25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択「賀来の市」	
鶴崎踊	鶴崎	保存会	昭56. 3. 31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	※国選択無形民俗文化財 ※市指定無形民俗文化財